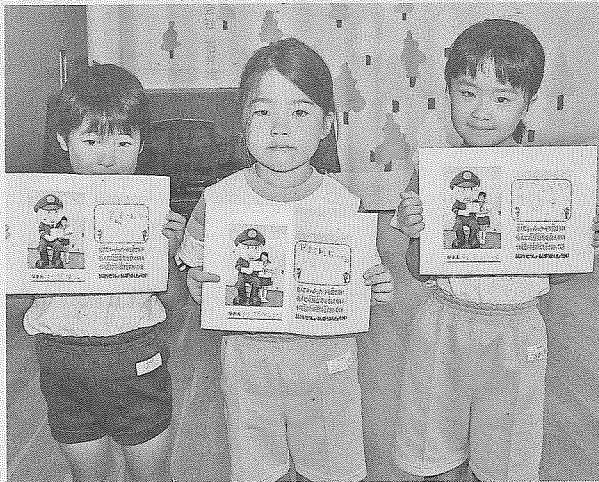


詐欺に気を付けて

園児がメッセージカード作成



富士市厚原のたかおかこども園で10日、年長児54人が特殊詐欺被害防止メッセージカードを作った。

富士署や富士防犯協会の協力の下、年長児が県警公式キャラクターのエス・ピーくんと一緒に撮影した写真を、祖父母や親戚、近所の高齢者などに贈るカードを作った。カードには「あやしい電話に気を付けてね」「だまされないうね」などと特殊詐欺に遭わないように呼び掛けるメッセージを記した。被害防止に併せ、「長生

園児がメッセージ入りカードを作った。きしてね」「元気でいてね」といった健康を気遣う言葉も添えた。カード作成前には同協会防犯指導員の高橋和華さんによる防犯講話や富士署地域安全協議会女性部ふじエレガンスのメンバーによる防犯紙芝居などで、犯罪被害から身を守る方法を学んだ。

園児が作成したメッセージカードを用いて特殊詐欺被害防止の啓発するのは、市内では初の試み。高橋さんは「啓発チラシに目を通さない方でも、子供からもらったカードは目に入りやすい所に置いて保管してくれる場合が多い。子供からのメッセージは心に残りやすく、いざという時に思い出し、てくれる可能性も高い」と期待。

その上で「今後、市内の他の園でも同様の取り組みをしていきたい」と話した。渡邊宏行園長は「核家族化が進み、祖父母と話す機会が少ない園児が多いので、カードを渡すことでコミュニケーションのきっかけにしてほしい。同時に、お年寄りを大切にすることを育んでほしい」と思いを語った。